



令和元年 12 月 24 日  
 温暖化対策統括本部  
 S D G s 未来都市推進課

**ヨコハマSDGsデザインセンター  
 ~「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目指して~  
 「旭区若葉台オンデマンドバス」第3回実証実験を開始します！**



横浜市は「SDGs未来都市・横浜」として、「環境を軸に、経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現」をビジョンに掲げ、市民・企業等と連携した様々な取組を進めています。

ヨコハマ SDGs デザインセンターは、一般社団法人若葉台まちづくりセンター、MONET Technologies 株式会社（ソフトバンク株式会社のグループ会社）と連携し、高齢者や子育て世代など、だれもが「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちの実現に向けた、オンデマンドバスの実証実験を横浜市旭区若葉台エリアで実施しており、令和2年1月から第3回の実証実験を開始します。

実証実験を行うにあたり、保育園や幼稚園、福祉施設等の施設の皆さまに広報面でのご協力をいただき、より多くの方の利用を促進していきます。

今後、オンデマンドバスの本格サービス化を図るため、本実験を通じて、若葉台エリアの施設連携を進め、有料化の検討、単なる移動手段にとどまらない新たなサービスの付与の検討など、新しい事業スキームの構築を目指してまいります。

この件について、ヨコハマ SDGs デザインセンターが記者発表しましたので情報提供します。

<参考：前回までの実証実験からの変更点>

- ①福祉車両を導入し、地区内の高齢者や福祉施設利用者等の需要を把握します。
- ②WEB 予約に対応し、予約手段を増やすことで利便性を向上させ利用者増を図ります。
- ③実験期間を2カ月に延長し、オンデマンドバスの露出を高め認知度向上を図ります。

**SDGs未来都市・横浜** 

お問合せ先

温暖化対策統括本部 SDGs未来都市推進課長

高橋 知宏

Tel 045-671-3901

報道関係者各位

令和元年12月24日  
ヨコハマSDGsデザインセンター

## ～「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目指して～ 「旭区若葉台オンデマンドバス」第3回実証実験を開始します！

ヨコハマSDGsデザインセンターは、一般財団法人若葉台まちづくりセンター、MONET Technologies株式会社（ソフトバンク株式会社のグループ会社）と連携し、高齢者や子育て世代など、誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちの実現に向けた、オンデマンドバスの実証実験を横浜市旭区若葉台エリアで実施しており、2020年1月から第3回の実証実験を開始します。（※実験概要は裏面参照）

なお、このエリアは横浜市の大規模団地再生モデル構築事業の対象団地の1つです。

前回までの実験から以下のような検証結果が得られました。

- 地区内施設等へのヒアリング結果から、保育園や福祉施設での需要の可能性が高い
- 第2回実験途中で、Android端末からも予約可能になった旨を広報した結果、利用者数が急増した
- スマートフォンだけでなく、WEBブラウザからの予約も対応してほしいとの要望が高い

上記を踏まえ、有料化等による持続可能な運行を目指し、今回の実証では以下の変更を行います。

- ①**福祉車両の導入** →地区内の高齢者や福祉施設利用者等の需要を把握
- ②**WEB予約に対応** →予約手段を増やし利便性を向上させ利用者増を図る
- ③**実験期間を2カ月に延長** →オンデマンドバスの露出を高め認知度向上を図る

また、実証実験を行うにあたり、保育園や幼稚園、福祉施設等の施設の皆さまに広報面でのご協力をいただき、より多くの方の利用を促進してまいります。

今後、オンデマンドバスの本格サービス化を図るべく、本実験を通じて、若葉台エリアの施設連携を進め、有料化の検討、単なる移動手段にとどまらない新たなサービスの付与の検討など、新しい事業スキームの構築を目指してまいります。

### ■ 使用車両

#### ① 一般車両（1台）

ハイエースタイプ  
9席（チャイルドシート2台、ジュニアシート1台）

##### 【車両のイメージ】

※使用する車両は色や形状が異なる可能性があります。



※第1回実験時の様子

#### ② 福祉車両（1台） ※2月13日～

ハイエースタイプ  
車いす2台（リフト付き、6席）  
※介護ヘルパー2級以上の補助業務員が同乗します。

##### 【車両のイメージ】

※使用する車両は色や形状が異なる可能性があります。



## ■ 実証実験の概要

	第3回 (今回)	第2回 (前回)	第1回 (前々回)
実施期間	①一般車両 (1台) 2020年1月14日 (火) ~ 3月13日 (金) の平日 ②福祉車両 (1台) 2020年2月13日 (木) ~ 3月13日 (金) の平日	2019年7月11日 ~8月9日 ※7月27、28日運休	2019年3月20日 ~3月26日 ※19日は関係者試乗会
運行時間	①一般車両 7:30~19:30 ②福祉車両 8:30~17:00	7:00~20:00	9:00~17:00
走行エリア	若葉台地区及び近隣施設 医療機関、学校、保育園、幼稚園、福祉施設等	若葉台地区 及び近隣施設	若葉台地区
運賃	無料	無料	無料
対象	若葉台にお住まいの方、お勤めの方、若葉台にある施設をご利用の方	若葉台にお住まいの方、お勤めの方	若葉台にお住まいの方 (30名)
車両	①一般車両 (1台) ハイースタイプ <sup>®</sup> (9席) ②福祉車両 (1台) ハイースタイプ <sup>®</sup> (車いす2台、6席)	ヴェルファイア (6席) 1台	ハイースタイプ (9席) 1台
予約システム	・スマートフォンアプリ (iPhone、Android) ・WEBブラウザ (Google Chrome推奨)	スマートフォンアプリ (iPhone、Android)	スマートフォンアプリ (iPhone)

◎ 第2回  
利用件数 : 388件  
利用者 : 延べ851名

◎ 第1回  
利用件数 : 31件  
利用者 : 延べ105名

### ○ 今回の実証実験におけるご利用条件

- ・ 若葉台にお住まいの方、お勤めの方、若葉台にある施設をご利用の方
- ・ 18歳以上の方 (18歳未満の方は、登録者との同乗は可能です)
- ・ iPhone (iOS11 以上)、Android (Android7 以上) をお持ちの方
- ・ インターネット環境をお持ちの方 (Google Chrome推奨) ※今回追加

本取組は、あらゆる人にとって生活しやすい「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目指し、下記5者の連携により、郊外住宅地における身近な移動手段の充実に向けて取り組むものです。

一般財団法人若葉台まちづくりセンター MONET Technologies株式会社  
ヨコハマSDGsデザインセンター 神奈川県住宅供給公社 横浜市

若葉台オンデマンドバス実証実験は、一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金 「地域に合った移動の仕組み作り」助成採択事業です。

ヨコハマ SDGs デザインセンター 

「SDGs未来都市・横浜」の実現を目指し、環境・経済・社会的課題の統合的解決を図る、横浜型「大都市モデル」の創出に向け、多様な主体との連携によって自らも課題解決に取り組む中間支援組織

■お問合せ先  
ヨコハマSDGsデザインセンター  
contact@yokohama-sdgs.jp  
問合せフォーム <https://yokohama-sdgs.jp/contact>

SDGs未来都市・横浜

